

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 令和5年10月25日（水）9時57分～16時20分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 松田知事公室長、三和土木交通部長、中田会計管理者、東郷企業庁長、中村警察本部長、三橋人事委員会事務局長、島戸監査委員事務局長、箕浦議会事務局長および関係職員

◎ 議事の概要

- 1 議第110号、議第114号、議第115号、報第8号、報第11号および報第12号について（部局ごとの審査）

【企業庁所管分】

委員からは、いわゆる内部留保について、将来の投資に備えて蓄えていると思うが、物価が高騰していることもあるので、料金を減免するなどの対応への活用を考えられたい、などの意見が出された。

【土木交通部所管分】

委員からは、都市公園におけるPark-PFI等の活用について、民間の発想を活用するとともに、隣接する施設や地域と連携することによりさらに都市公園の価値が高められるよう取り組まれない、河川愛護活動事業について、地域や河川によって取組方は違うと思うので、委託先の市町に裁量を与えるとともに、責任を持って取り組んでもらえるような方法を考えられたい、県営住宅について、高齢化社会に対応した施設整備はしているが、社会の変化に対応するという意味では、単身者に対応した施設整備も今後は必要ではないか、などの意見が出された。

【警察本部所管分】

委員からは、犯罪被害者等への支援強化事業について、犯罪被害者等への支援は市町等とともに取り組んでいるが、犯罪被害者等への理解を全県的に向上させるためにも、滋賀県警察がリーダーシップを発揮して取り組まれない、特殊詐欺被害防止対策事業について、県民にかなり特殊詐欺が認知されているにもかかわらず被害件数、被害額ともに令和3年度より増加しているため、市町や自治会、関係団体等の連携をさらに強化しながら対策を行われたい、高齢者交通安全対策事業について、人口に占める高齢者の割合が高まる中、高齢ドライバー事故の割合が増えることは当然想定されるので、データを公表する際にはそういったことにも留意されたい、などの意見が出された。

【知事公室所管分】

委員からは、広報事業について、新聞の発行部数やテレビ番組の視聴率が減少傾向にあり、SNSやデジタル媒体などを活用したエンターテインメントの部分での発信が

注目されるが、県民向けに生活に必要な情報をしっかりと伝えていくことが大切なので、発信するための手法をうまく組み合わせながら取り組んでいただきたい、広報誌企画編集業務について、広報紙の購読率が減っている中、県政情報をわかりやすく、かつ興味を持ってもらえるように県民に伝えるために、非常に高い企画力やデザイン力が必要となるのであれば、同じ会社が続くとマンネリ化してしまうので、ほかの会社と協力して新しいアイデアを取り込むなど、良いものを作っていくための工夫をしていただきたい、などの意見が出された。

【会計管理局、人事委員会事務局、監査委員事務局、議会事務局所管分】

委員からは、証紙収入について、今後電子申請が増えた場合に、手数料を収入証紙という形ではなく、たとえばバーコードを活用するなど、キャッシュレスでの対応も検討するべきである、滋賀県が締結する契約に関する条例推進事業について、契約事務に慣れていない職員がこの条例のことを理解しているのか疑問に思うことがあるので、必要に応じて指導や助言をしっかりと行っていただきたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 部局別資料(工業用水道事業会計および水道用水供給事業会計決算)
- 2 随意・長期継続契約締結結果(企業庁)
- 3 部局別資料(土木交通部)
- 4 主要施策の成果に関する説明書(土木交通部)
- 5 随意契約結果(土木交通部)
- 6 部局別資料(警察本部)
- 7 主要施策の成果に関する説明書(警察本部)
- 8 随意・長期継続契約締結結果(警察本部)
- 9 部局別資料(知事公室)
- 10 主要施策の成果に関する説明書(知事公室)
- 11 随意契約結果(知事公室)
- 12 部局別資料(会計管理局)
- 13 主要施策の成果に関する説明書(会計管理局)
- 14 随意契約結果(会計管理局)

- 15 令和4年度人事委員会事業概要
- 16 部局別資料(人事委員会事務局)
- 17 部局別資料(監査委員事務局)
- 18 部局別資料(議会事務局)
- 19 随意契約結果(議会事務局)